「第５回大井川鐵道全線復旧・復興に向けたまちづくり意見交換会」意見要旨

【出席者】　参加メンバー10 人
【日　時】　令和７年２月 19 日（水）　午前 10 時から 11 時 25 分
【場　所】　総合支所２階
【内　容】

内容（要点筆記）
●駅舎清掃、被災区間視察報告　説明：事務局
○被災区間の視察に参加してみて、線路だけではなく、山からの崩土を目の当たりにして、復旧することは非常に大変だと感じた。 ○法面、水路の復旧もしなければならなく、厳しい状況だと思う。 ○現場を見たことにより、被害の大きさを改めて思い知らされた。 ○町民が協力し、復興に向けて取り組むことの必要性を痛感した。 ○現地に足を運び、被害の大きさに率直に前途多難だと感じた。 ○大井川鐵道は 10 年以上災害対策を実施していないと聞いている。今回、視察に参加して、災害対策の大切さを実感した。 ○大井川鐵道は町の観光にとってなくてはならない。全線復旧に向けて、出来ることを実施していきたい。
●大井川観光フェア(3/8.9)について　説明:事務局
●情報交換、意見交換（グループワーク）10:30-10:55
【グループ①】 ○賑わいづくりは大切である。 ○賑わいづくり＝マルシェではなく、日々の賑わいを求めていきたい。 ○力まず継続することが大事なのでは。 ○地元の人では当たり前で気が付かない魅力を改めて見つけてみる。 ○大井川鐵道でも多くのイベントを実施しているが、トーマスは認知度があるが、島田市川根本町は知らない人が多いのが現状。 【グループ②】 ○小さなイベントでも見ていてくれる人がいる。継続することが必要である。 ○成功例を作ること。 ○沿線に季節感をだす取り組みを実施する。 【グループ③】 ○やれることをやっていけばいい、継続が一番大事である。駅舎清掃草刈り、マルシェイベントは定期的に実施した方が良い（町外からも参加者を集うとか）。 ○マルシェは町内だけではなく、この先 KADODEOOIGAWA などをお借りして開催すれば、県内外にアピールできるのでは。 ○地域の賑わいづくり、沿線の活性化には、お客様に周遊してもらうことが必要であるため、公共交通機関の繋がりや待ち時間への対策が必要。

○まちづくり講演会の後をどうするか、いろんなご意見、アイデアの公募など意見を反映していく必要がある。それに向けての対応が必要である。
●その他 ○3/22（日）大井川鐵道　鳥塚亮社長講演会のお知らせ ○駅舎清掃、被災者区間視察へご協力いただき、感謝申し上げる。復旧に向けて少しずつ進んでいるので、引き続きよろしくお願いします。 ○本会は令和６年６月に会を立上げ、５回実施している。 ○本会の位置づけは、復旧に向けた賑わいづくり等個々の意見をまとめて「あり方検討会」へ提示していく。

終了